

訪問看護の機能と役割

(電話 訪問)

- 服薬相談、残薬整理、処方日調整、服薬指導、誤薬チェック・調整
(10月のA訪問看護ST訪問件数451件、薬関連指導対応153件)
- 病状変化 (発熱、転倒・外傷、下痢、便秘) に対応
- バルン・ストマ・点滴(ポート含む)トラブル
- 褥創処置
- 心不全、感染症、急性腹症 医師の指示に従い対応
- 臨時往診の依頼 (高い水準の看護診断 在宅トリアージ 救急車要請)
- 家族へのケア指導 精神的支援
- 療養環境整備助言
- 死後の処置 グリーフケア(悲嘆ケア)

医師の諜報部員 患者・家族の弁護士



医師の役割

- 訪問診療 緊急往診 死亡診断
(対象者200件 時間外往診 10件/月)
- 訪問看護師への指示 口頭・書面
- ケア会議出席・ケアマネ面会
- 主治医意見書記載
- 各種・指示書記載(訪問看護 服薬指導等)
- 多職種連携 ケアチームの一員として



急性期・外傷に在宅で対応

- 発熱（肺炎・尿路感染・胆のう炎）
化学療法 酸素療法 補液
- ガン末期 緩和ケア 麻薬管理
- 栄養管理 PEG（胃瘻） ポート（IVH）
- 小外科処置・骨折保存療法
- 人工呼吸器管理



家族の役割 介護職の協力

- 軟膏処置
- 座薬の挿入 服薬援助
- たんの吸引
- 褥創処置(創処置)
- 浣腸(摘便)
- 経管栄養注入 食事介助
- 自己注射 患者の手に添えて支援
- バイタルサイン (BP/BT/SpO₂)



国民の期待 病院よりも家

9月11日 日経新聞(交遊抄:水田邦雄)

「在宅ケアだとがん患者はがんで亡くなる」
病院では治療の副作用で……

11月3日 読売新聞(67歳 介護者)

「病院にずっといたら夫はきっと寝たきりになっていたと思います」